

町に関係する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

福祉向上活動に感謝の意を

第3回「益城町町民表彰」

役場仮設庁舎で2月17日、町の振興や町民の福祉向上に貢献し、町民の模範となる行為があったと認められる個人や団体を表彰するものとして、第3回「益城町町民表彰」の授与式が行われました。

表彰されたのは、伊藤松弘さん(小峯)と山内明さん(惣領3町内)。伊藤さんは環境美化・保全、山内さんはボランティア活動の著しい功績が表彰されたものです。

式では、西村町長から受賞者それぞれへ表彰状と記念品が手渡されました。



左から山内さん、西村町長、伊藤さん

受賞者の表彰理由と受賞コメント

伊藤さんは、平成19年に福島県から益城町に移住。益城町に誇れるものという思いから、小池の耕作放棄地に約2,000㎡の大賀ハス園を作られました。早朝から手入れをし、時間をかけて育てておられます。薄いピンクの大輪の花が咲く頃には、その美しい花を一目見ようと多くの人々が訪れています。昨年は、秋津川河川公園にもハス園を作られ、そこにも大輪の花が咲きました。

また、新型コロナウイルスの影響で、外出自粛やイベント中止など暗くなりがちな町を少しでも明るくしようと、町内の店舗などにハスの切り花を生けられました。花の時期ではない現在は、池の草を取って綺麗にし、カワセミやコウノトリなどが飛来するよう整備を行うなど、常に環境美化にご尽力いただいております。

受賞に際して、「表彰いただいたことに感謝申し上げます。震災から5年が経ち復旧が進む町の環境美化に、これからも命ある限り貢献していきたい」と話されました。

山内さんは、平成18年に広安小のPTA会長に就任された際に、益城中のPTA会長から「登校見守りの時、中学生がなかなかあいさつをしてくれない」と言われ、小学生の時から意識付けが重要だと思い、広安小の登校見守りを始められました。それ以降、毎朝学校前で登校見守りをしながら、子どもたちとあいさつを交わしておられます。現在は広安小だけでなく、益城中と木山中でも活動しておられます。広安小のPTA会長時には、お父さんたちの参加の必要性を感じ、「おやじの会」を立ち上げるなど、学校運営にも貢献されました。

また、現在も広安小と益城中の学校運営協議会の会長を務めておられ、地域住民として子どもたちのためにできることを率先して考え、実践するなど、学校運営にご尽力いただいております。

受賞に際して、「町のために何かしたいと考えた時に、子どもたちが安心して暮らせて、みんなであいさつし合うことができる町にしたいと思い始めました。できる限り続けたい」と話されました。

